



2011年3月期 第2四半期決算説明会

富士機械製造株式会社

Nov. 2010

※本資料における業績予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境での入手可能な情報に基づき、当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おきください。

■ 業績説明

■ 事業方針



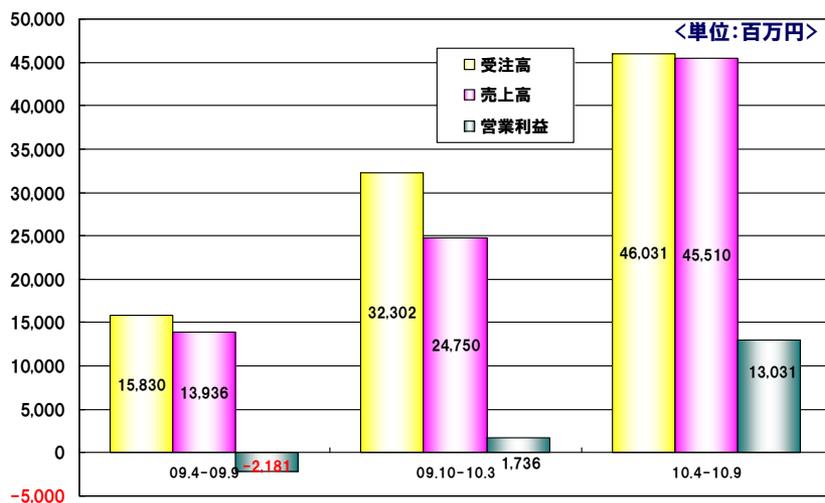
連結業績 第2四半期連結業績実績

(単位:百万円)	09.4-09.9 実績	09.4-10.3 実績	10.4-10.9 期初予想 (5月13日)	10.4-10.9 修正予想 (8月13日)	10.4-10.9 実績	対前年 同期 増減率	期初予想 増減 (5月13日)	修正予想 増減 (8月13日)
売上高	15,266	41,747	42,000	49,000	48,320	216.5%	6,320 15.0%	△680 △1.4%
営業利益	△4,923	△6,212	5,100	9,300	10,847	—	5,747 112.7%	1,547 16.6%
営業利益率	△32.3%	△14.9%	12.1%	19.0%	22.4%	—	10.3%	3.4%
経常利益	△4,722	△5,842	5,200	9,000	10,452	—	5,252 101.0%	1,452 16.1%
当期純利益	△5,132	△4,828	3,100	5,600	5,815	—	2,715 87.60%	215 3.9%
一株当たり 当期純利益	円 △104.99	円 △98.78	円 63.42	円 114.56	円 118.97			
一株当たり 配当金	円 10.00	円 20.00	円 12.50	円 17.50	円 17.50			

連結業績

電子部品組立機事業

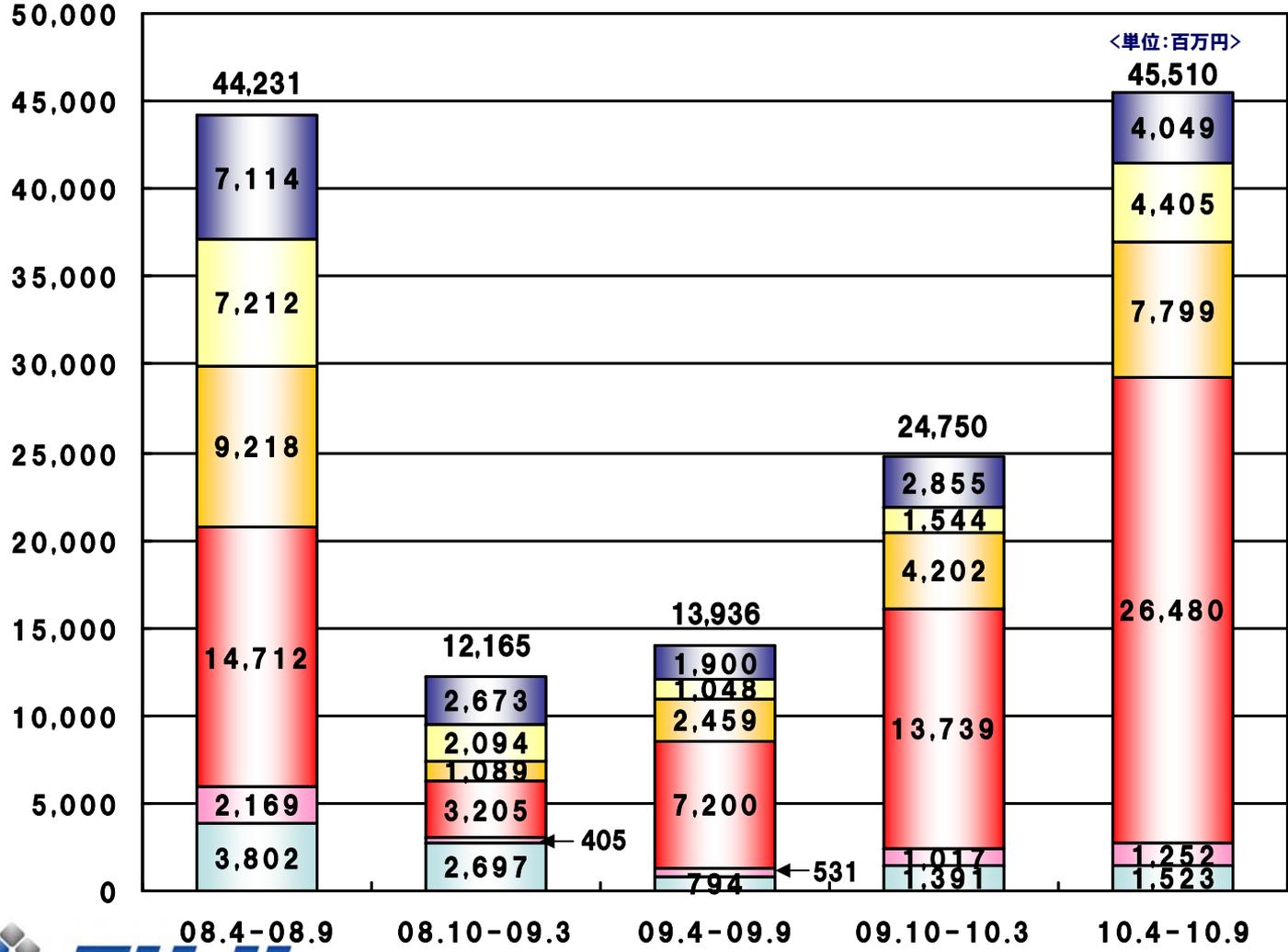
(単位:百万円)	09.4-09.9 実績	09.10-10.3 実績	10.4-10.9 期初予想 (5月13日)	10.4-10.9 修正予想 (8月13日)	10.4-10.9 実績	対前年 同期 増減率	期初予想 増減 (5月13日)	修正予想 増減 (8月13日)
受注高	15,830	32,302	38,700	47,700	46,031	190.8%	7,331 18.9%	△1,669 △3.5%
売上高	13,936	24,750	39,200	46,200	45,510	226.6%	6,310 16.1%	△690 △1.5%
営業利益	△2,181	1,736	—	—	13,031	—	—	—
営業利益率	△15.7%	7.0%	—	—	28.6%	—	—	—



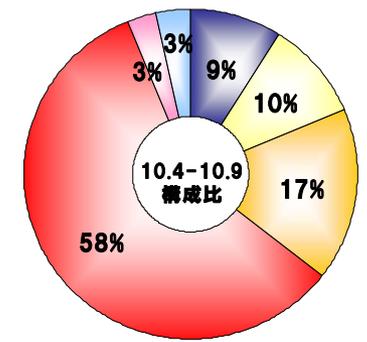
NXT II

連結業績

電子部品組立機事業 地域別売上高

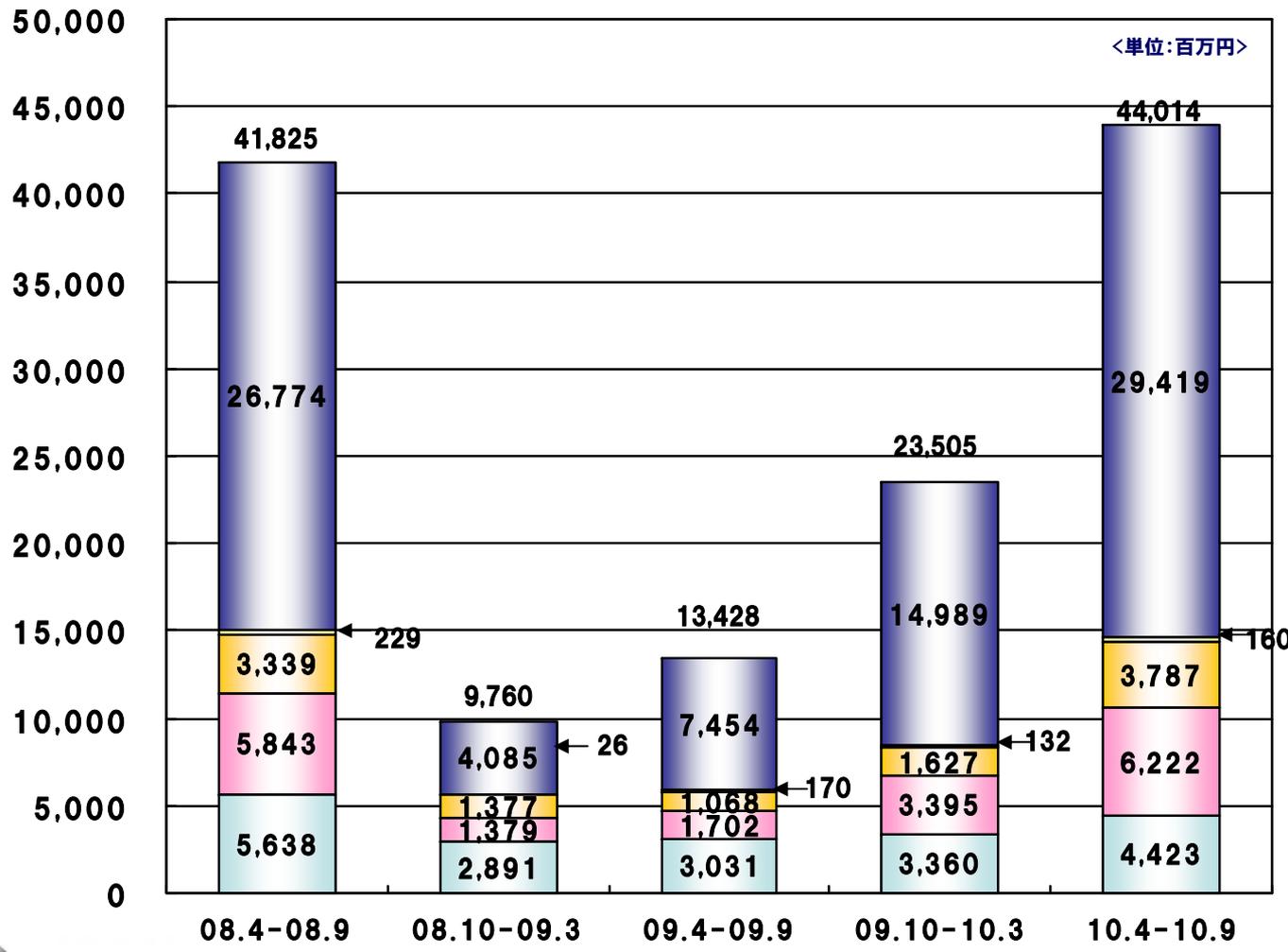


- 北アメリカ
- ヨーロッパ
- アジア
- 中国
- その他
- 国内



単体業績

電子部品組立機事業 機種別売上高



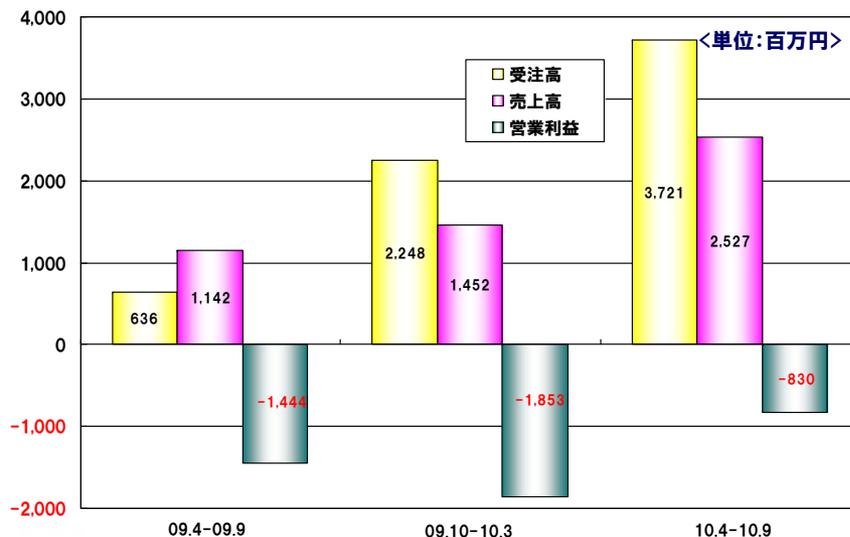
- 高速装着機 NXT
- 汎用装着機 AIM
- 中型装着機 XPシリーズ
- 関連機器
- 部品・改造修理等



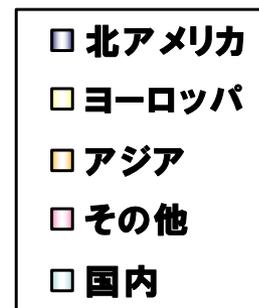
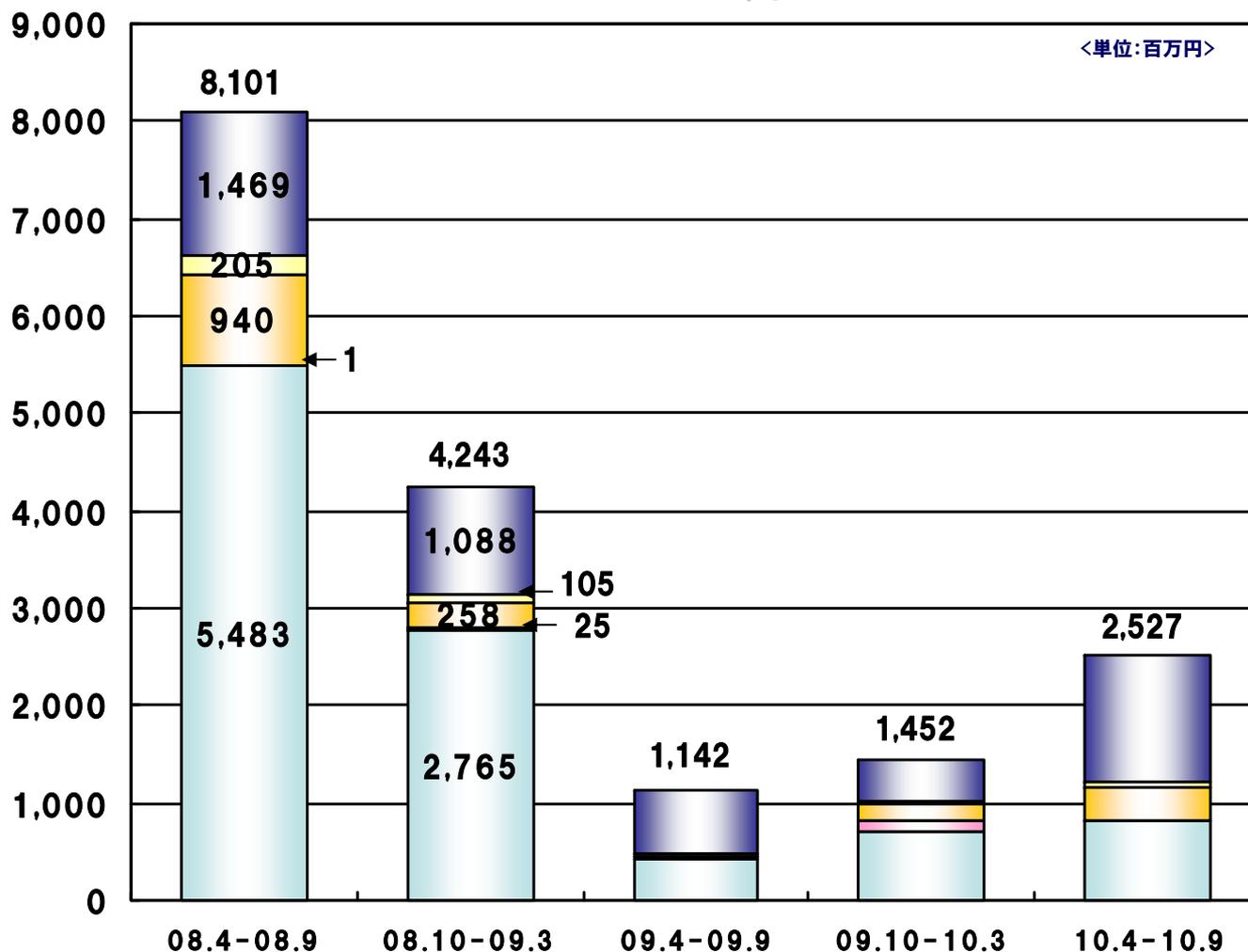
連結業績

工作機械事業

(単位:百万円)	09.4-09.9 実績	09.10-10.3 実績	10.4-10.9 期初予想 (5月13日)	10.4-10.9 修正予想 (8月13日)	10.4-10.9 実績	対前年 同期 増減率	期初予想 増減 (5月13日)	修正予想 増減 (8月13日)
受注高	636	2,248	3,000	3,000	3,721	484.9%	721 24.0%	721 24.0%
売上高	1,142	1,452	2,500	2,500	2,527	121.2%	27 1.1%	27 1.1%
営業利益	△1,444	△1,853	—	—	△830	—	—	—
営業利益率	△126.4%	△127.7%	—	—	△32.9%	—	—	—



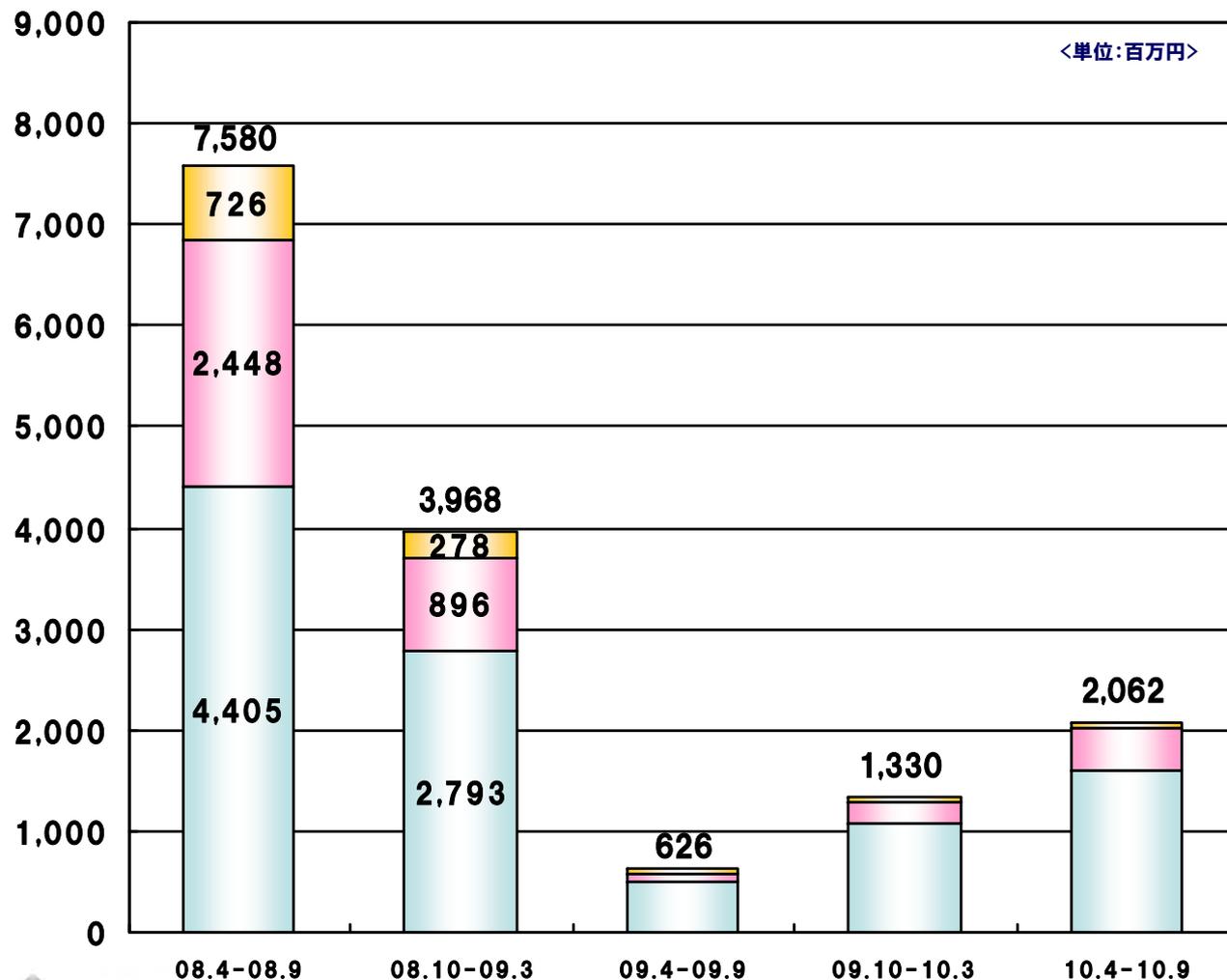
連結業績

工作機械事業
地域別売上高

内訳	09.4-09.9	09.10-10.3	10.4-10.9
北アメリカ	667	441	1,318
ヨーロッパ	26	5	34
アジア	17	185	340
その他	3	110	10
国内	428	709	824
合計	1,142	1,452	2,527

単体業績

工作機械事業 主要ユーザー別売上高



- トヨタ自動車
- トヨタグループ
- その他

内訳	09.4-10.9	09.10-10.3	10.4-10.9
トヨタ自動車	37	42	32
トヨタグループ	87	215	419
その他	501	1,072	1,610
合計	626	1,330	2,062

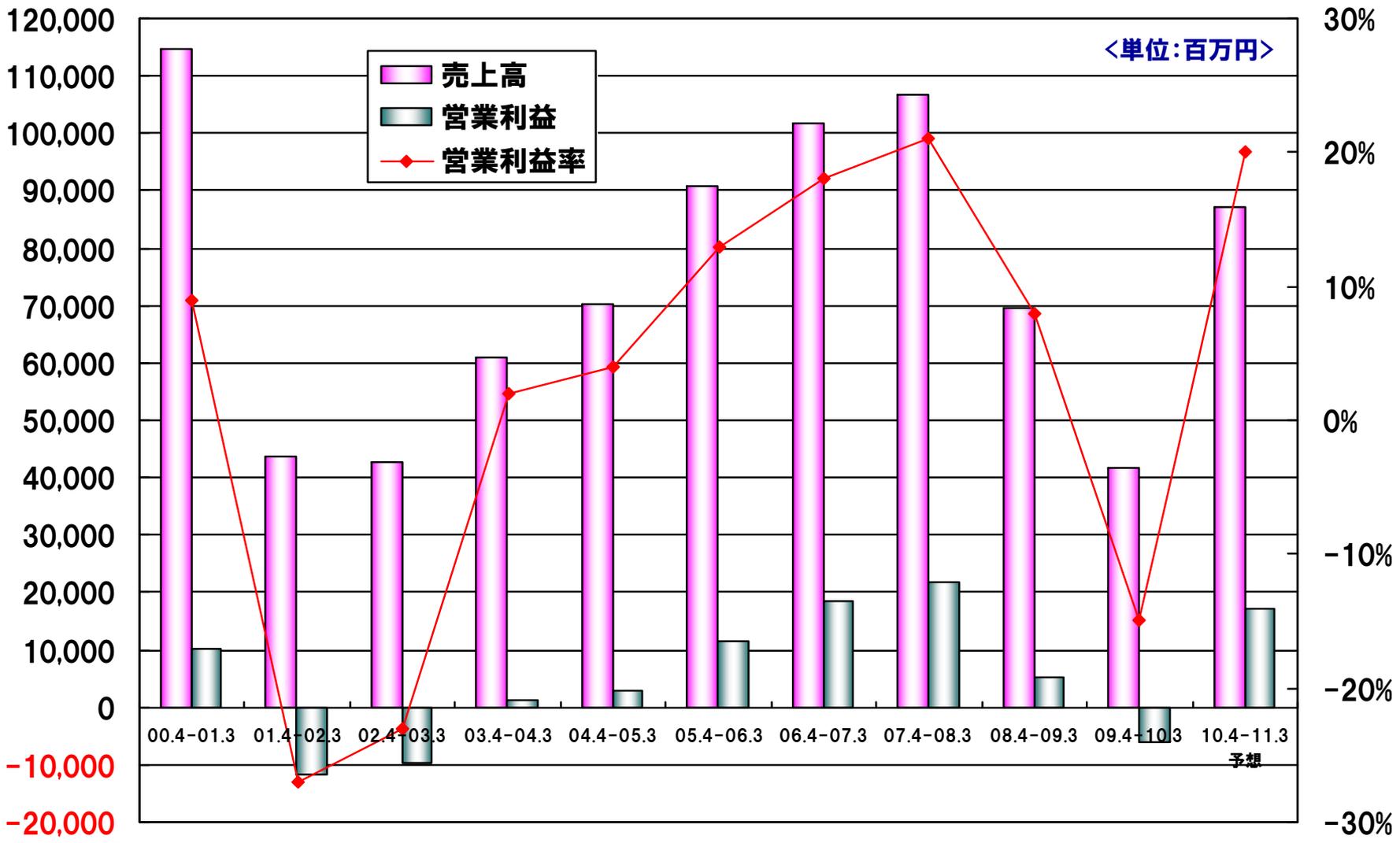
業績予想

連結業績予想

(単位:百万円)	09.4-10.3 実績	10.4-11.3 期初予想 (5月13日)	10.4-11.3 修正予想 (8月13日)	10.4-11.3 予想 (11月11日)	対前期 増減率	修正予想 増減率 (8月13日)
売上高	41,747	80,000	88,000	87,000	108.4%	△1.1%
営業利益	△6,212	9,000	15,500	17,000	—	9.7%
営業利益率	△14.9%	11.3%	17.6%	19.5%	—	1.9%
経常利益	△5,842	9,100	15,300	16,500	—	7.8%
当期純利益	△4,828	6,000	9,200	9,500	—	3.3%
一株当たり 当期純利益	円 △98.78	円 122.74	円 188.20	円 194.34		
一株当たり 配当金	円 20.00	円 25.00	円 35.00	円 35.00		

業績予想

連結売上高・営業利益推移



業績予想

連結事業セグメント

受注高

売上高

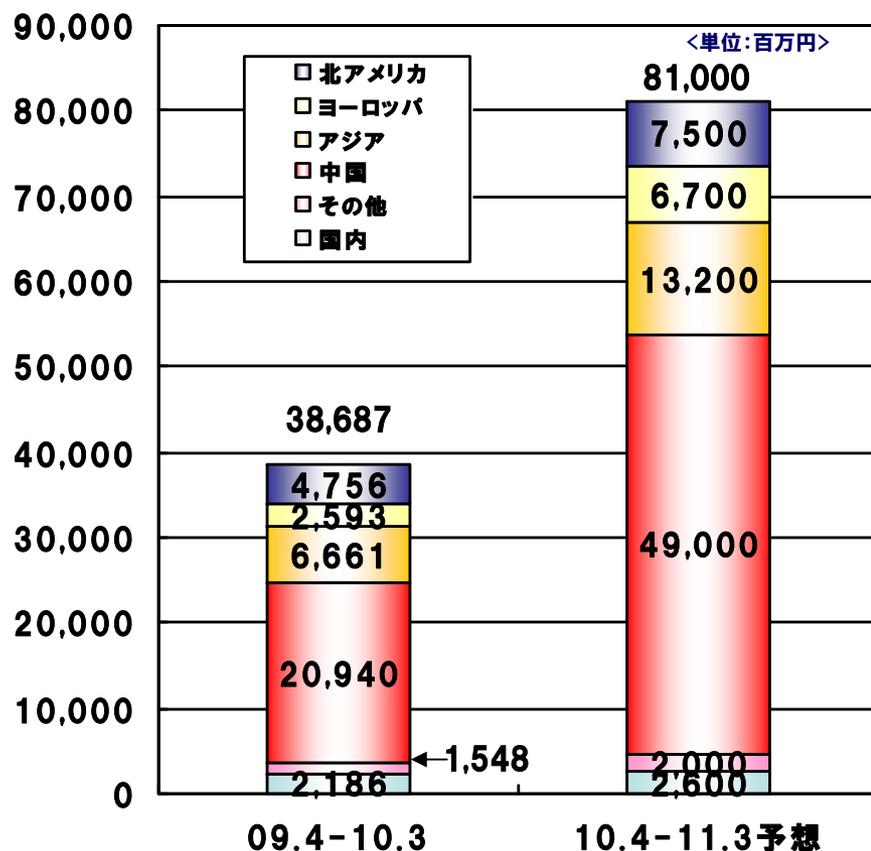
受注残高

(単位:百万円)	09.4- 10.3 実績	10.4- 11.3 予想 (11月11日)	対前期 増減率	09.4- 10.3 実績	10.4- 11.3 予想 (11月11日)	対前期 増減率	10.3 実績	11.3 予想 (11月11日)	対前期 増減率
	電子部品組立機	48,132	82,000	70.4%	38,687	81,000	109.4%	10,543	11,543
工作機械	2,884	6,500	125.3%	2,594	5,500	112.0%	1,868	2,868	53.5%
その他	492	500	1.5%	465	500	7.4%	88	88	0.0%
合計	51,509	89,000	72.8%	41,747	87,000	108.4%	12,501	14,501	16.0%

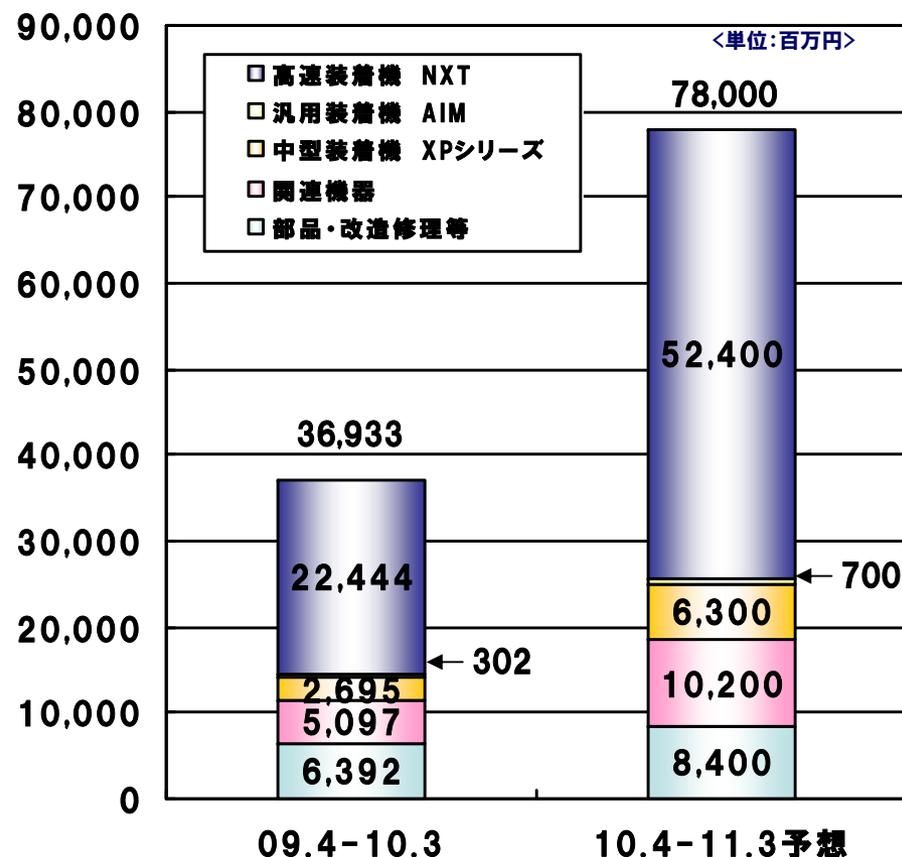
業績予想

電子部品組立機事業

地域別売上高(連結)



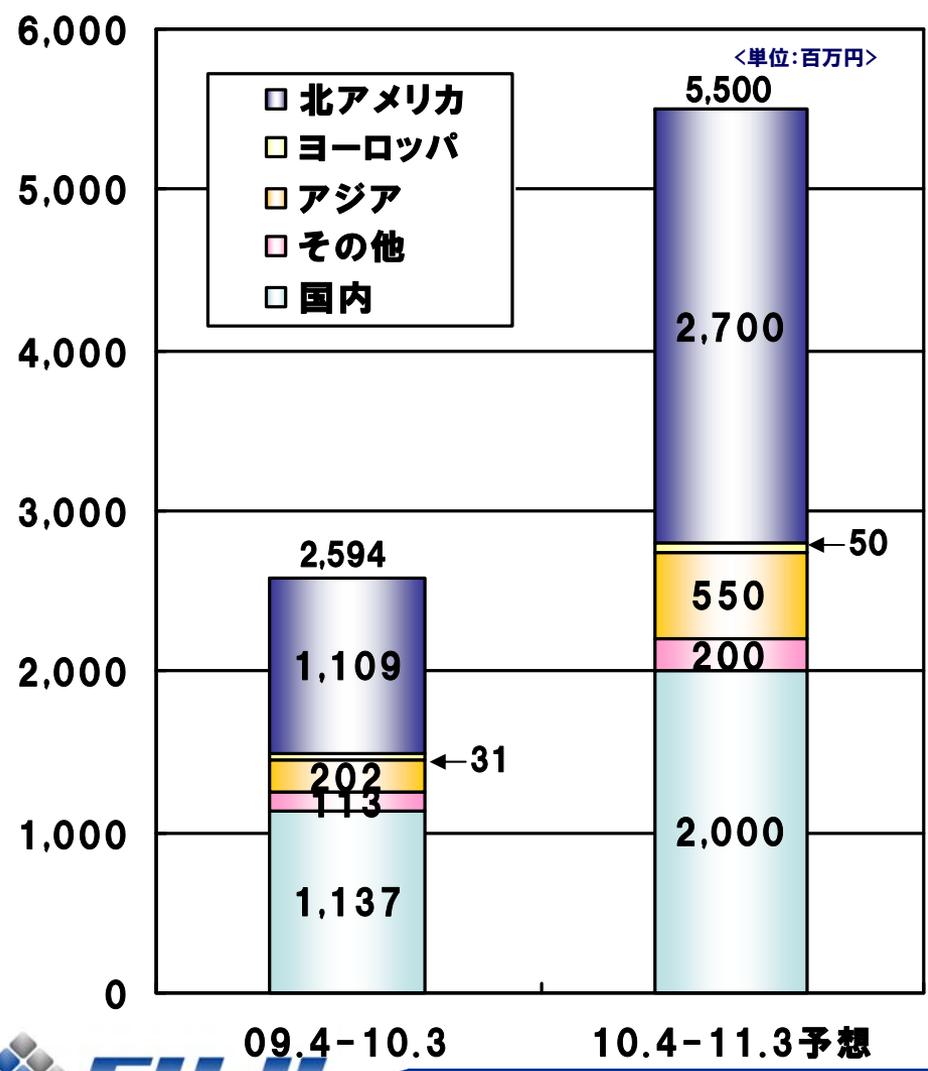
機種別売上高(単体)



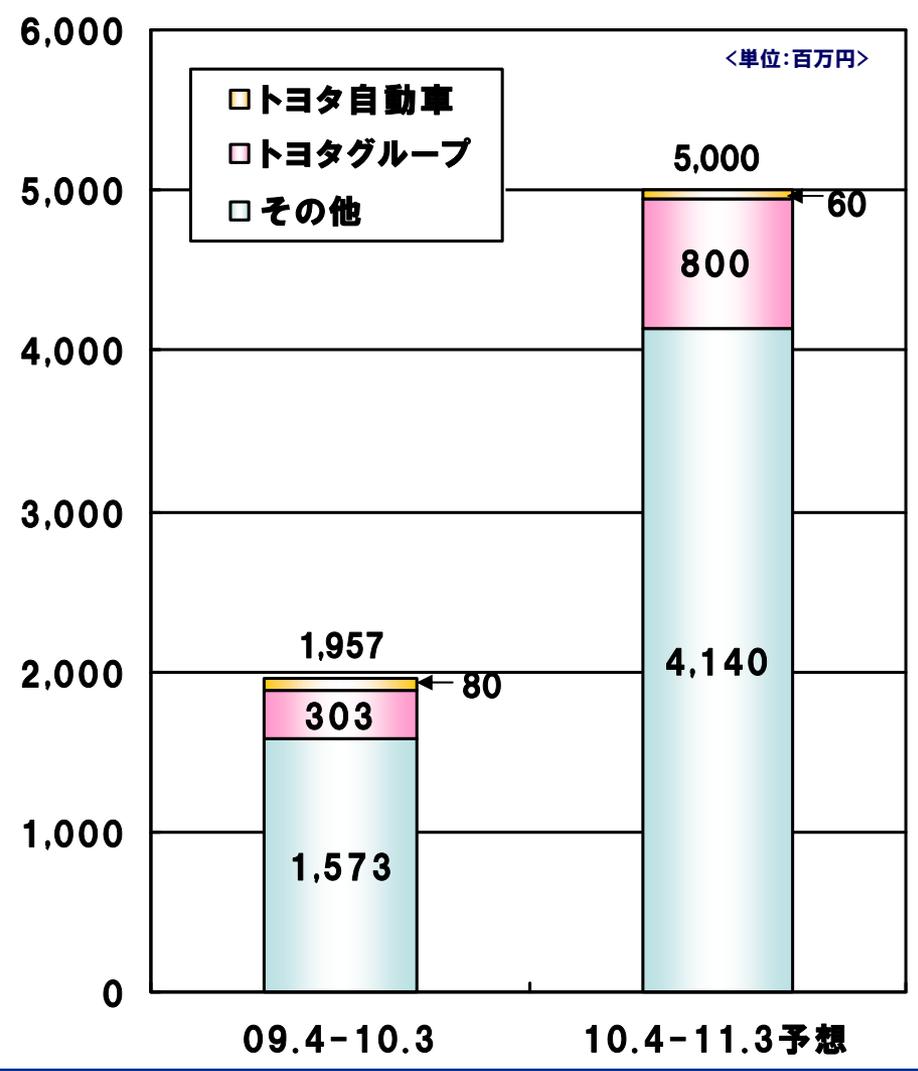
業績予想

工作機械事業

地域別売上高(連結)

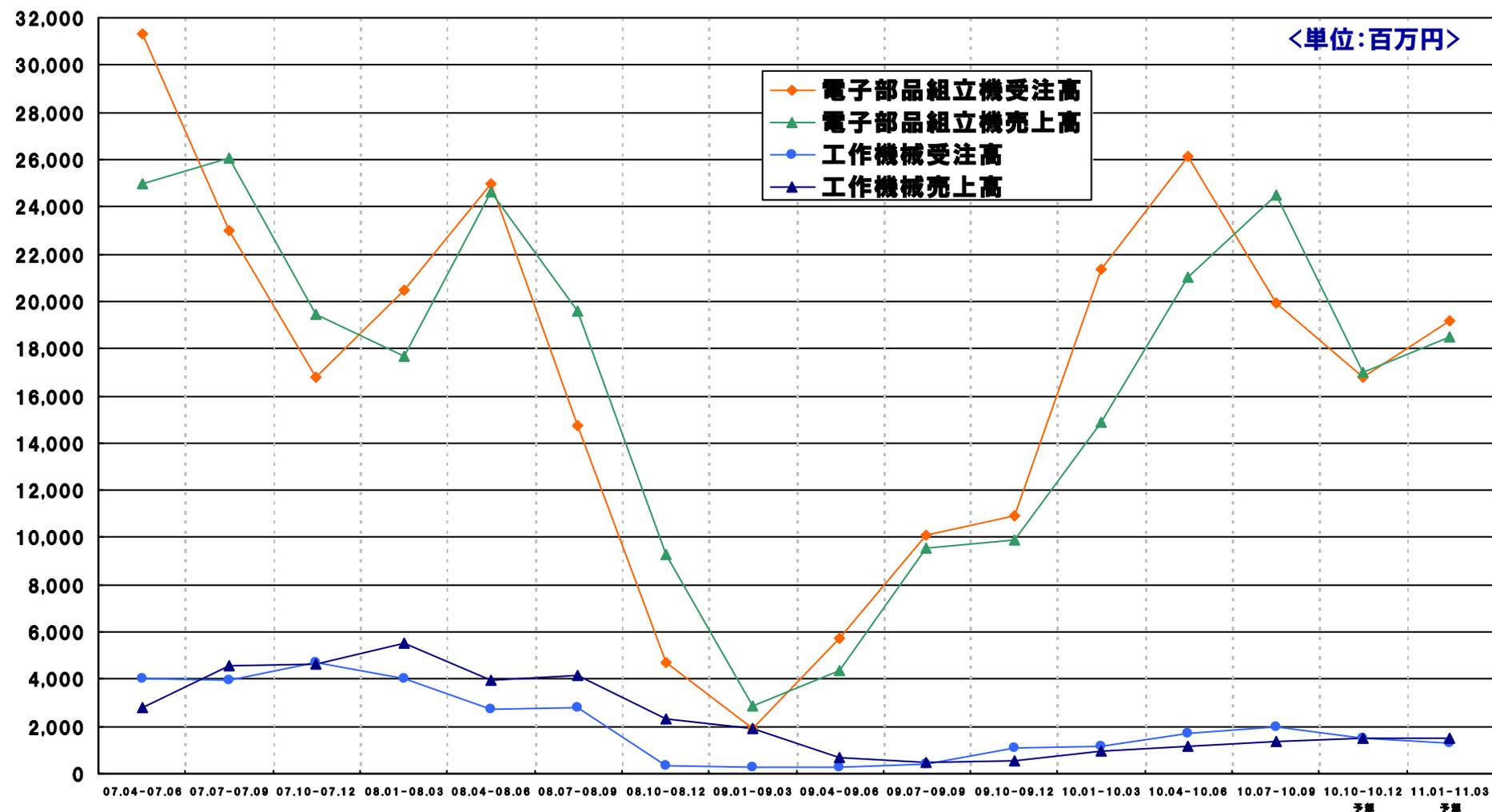


主要ユーザー別売上高(単体)



業績予想

四半期別連結受注高・売上高



■ 業績説明

■ 事業方針



経営基本方針

電子部品組立機事業

コア事業の拡充

- ・製品競争力強化および次世代製品開発
- ・グローバル営業の積極展開
- ・量的変動への迅速な対応

工作機械事業

抜本的な収益構造改革

- ・技術・生産・販売面の質的強化
- ・競争力ある新製品の市場投入
- ・新市場、新分野の開拓

スピード経営の推進

NEO FUJI - 新たなるチャレンジ

技術開発センター

新規事業開発の推進加速

- ・成長市場に向けた迅速な商品化、事業化
⇒大気圧プラズマ処理装置および
汎用組立・加工機S-FABの販売促進
- ・要素技術開発、次世代技術開発

全社

活力ある組織

- ・品質、コストの徹底追求
- ・経費削減、ムダの排除
- ・「自立した自律型社員」の育成

電子部品組立機事業

事業部方針

『GLOBAL30』 開発・営業・生産の三位一体による革新と継続

事業環境

■マクロ経済

- ▶ 円の独歩高、ドルの独歩安
- ▶ 先進国の低迷 (-_-;)、新興国の成長 (~o~) /

■堅調なマウンター需要

- ▶ 市場規模: 2010年度約2,800億円(上期1,600億円、下期1,200億円)
ピーク時(05~07年度)の約9割まで回復見込み
- ▶ 短期展望: エレクトロニクス製品市場の回復基調の鈍化
 - ⇒ 半導体需要の一服感、PC関連の在庫調整
 - ⇒ 凍結設備投資の一巡
 - ⇒ スマートフォン、タブレットPC市場の成長
 - ⇒ 中国を中心に底堅く市場を牽引
- ▶ 中期展望: 需要は季節的変動へシフト
 - ⇒ 市場の量的質的变化への迅速かつ柔軟な対応
 - 技術面: 混載実装の増加、高付加価値実装の要求
 - 価格面: 設備の低価格志向の高まりとダブルスタンダード化

電子部品組立機事業

事業戦略

営業

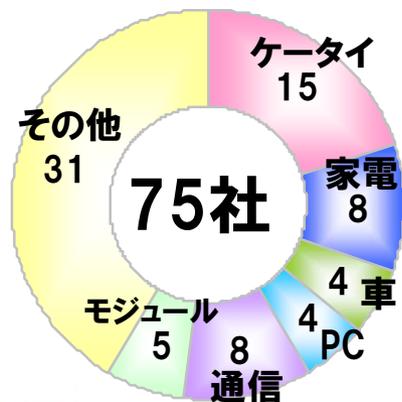
- ▶ 市場開拓・新規ユーザーの獲得、マーケットシェアの向上
- ▶ 販売網の強化、代理店の育成
- ▶ ユーザーの生産性向上支援

開発

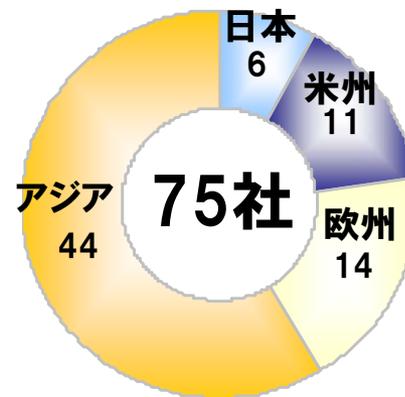
- ▶ 製品競争力強化、次世代製品開発
- ▶ トータルソリューションビジネスの拡充
- ▶ 開発マネジメント力の向上

生産

- ▶ リードタイム短縮(モジュール生産方式)、間接コスト削減(物流改革)
- ▶ 景気変動への俊敏なる対応
- ▶ 世界最適地調達の推進



新規獲得顧客
(含 既存顧客新Div)
2010年4-9月



2008年度 82社
2009年度 98社

工作機械事業

事業部方針

利益確保に向けた構造改革

事業環境・戦略

■外需主導で回復基調の工作機械業界

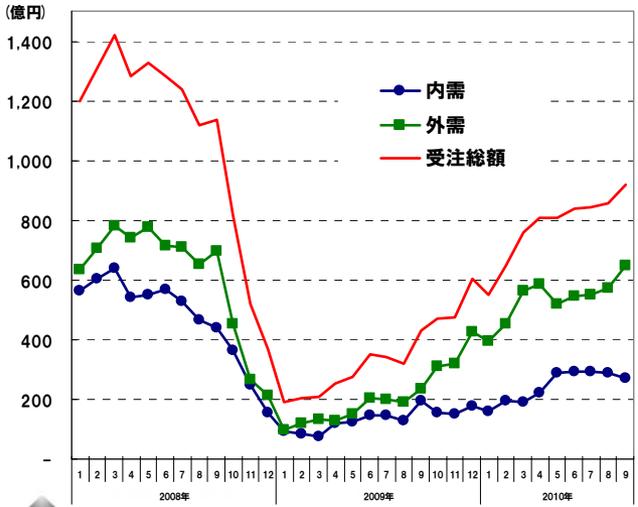
- ➔ 中国を中心とする新興国需要の持続的成長
- ➔ 日本工作機械業界の2010年受注額は9000億円台まで回復見込み
- ➔ 台湾、韓国勢の台頭、需要刺激策による効果の減衰懸念

◆競争力ある新製品(TN・CSDシリーズ、GEN400、i-TeN)の市場投入

- ➔ 新興国での販売力強化(中国・ブラジル市場の開拓、販売網の構築)
- ➔ オンリーワン技術(デフ用内球面加工)、画像処理技術(非接触加工精度向上)

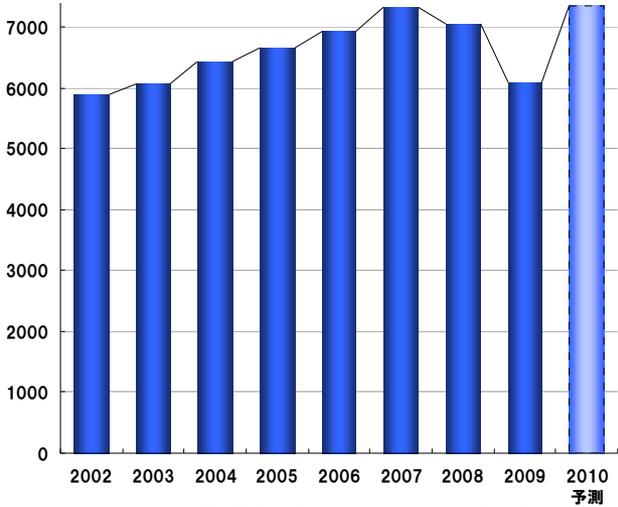
◆事業の更なる合理化、体質強化

工作機械受注額月別推移



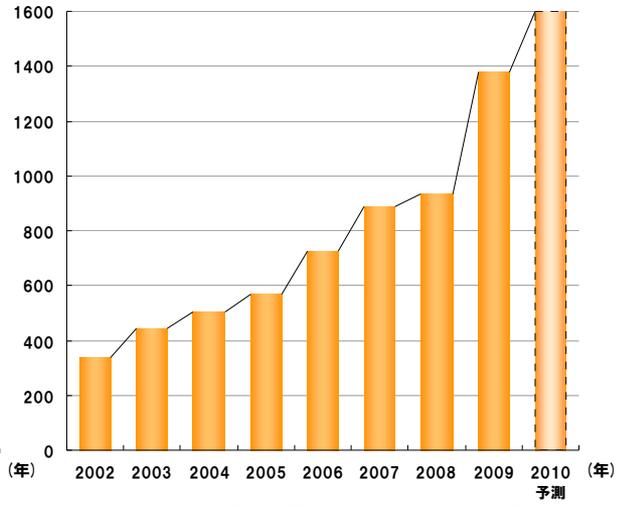
出所: 日工会

世界自動車生産台数



出所: 世界自動車工業会資料よりFUJI作成

中国自動車生産台数



出所: 中国汽車工業協会資料よりFUJI作成





FUJII

innovative spirit